



様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	710102	ふるさとふれあいセンター管理事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		
	平成13年度		から		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		「福田ふるさとふれあいセンター」は、耐震性などの問題から平成23年3月31日までで機能を廃止し、行政財産から普通財産とする。「明知下ふるさとふれあい広場」については、地域に密着した施設として、行政区を指定管理者として選定し管理運営を行っているが、特に要望や課題は寄せられていない。		
さくら保育園の跡地利用として平成13年に施設を転用し、地域ふるさと施設として当該施設の所在地である福田区に施設の管理運営を管理委託し、利用者の生涯学習、高齢者の生きがい、世代間のふれあい交流等の機能を持つ拠点施設として適正な施設管理を行うために開始した。					
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？					
変化していない		変化した内容			

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
		自治事務	根拠法令	みよし市地域ふるさとふれあい施設条例		
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく	理由	この事務を行う根拠又は理由	市が保有している当該施設を効率的な維持管理・運営を行うため指定管理者を定め、適切な施設管理を行うため。
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	拡大	内容	
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	追加	内容	
		(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	理由又は内容		
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	理由又は内容		利用者が限定されており、立地的にも利用回数が飛躍的に増加することは考えづらい。
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	庁内事業	類似事業名	三好丘交流センター
		(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	内容		
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	内容		
有効性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	現状で適正	内容		
		ない	検討が必要	内容		
公平性		受益者がいない				

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	「福田ふるさとふれあいセンター」は老朽化により安全性が確保できないため解体した。「明知下ふるさとふれあい広場」については、地域に密着した施設として、行政区を指定管理者として選定し管理運営を行っているが、遊具等の維持管理等に十分な注意が必要である。					